

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Facs. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

豚流行性下痢(PED)の発生を防ぐには ～ 侵入防止対策の再徹底を ～

朝晩が冷え込み、各種の疾病が発生しやすい季節になりました。

伝染性疾病には、病原体の侵入防止を徹底することで発生を予防できるものも多くあります。とくに豚流行性下痢（PED）は、全国的に流行し県内でも発生がありました。侵入防止対策の徹底により発生の拡大が防がれています。

引き続き、と畜場や車両を介した病原体の侵入防止を徹底していただきますようお願いいたします。

再チェック！！ 病原体侵入防止対策！！

農場入口

車両：タイヤ・荷台を中心に消毒
人：専用靴、衣服を着用

豚導入時

2～4週間隔離観察

農場内

分娩舎は衛生管理を区分

出荷

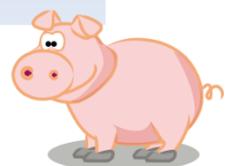
出荷前には豚の状態を観察

畜産関係施設

家畜市場、と畜場等への入退場時には、特に消毒を徹底

ワクチンを積極的に活用し病気の発生を予防しましょう！

母豚・哺乳豚に通常と異なる下痢、おう吐、食欲不振、死亡等の症状が認められた場合には、直ちに家畜保健衛生所へ通報してください。



消毒は伝染病予防の第一歩
まずは踏み込み消毒槽を畜舎に置きましょう



オール信州で取り組む
地消。地産

「地域の消費」と「地域の生産」を結んで
地域内経済循環の輪を広げます。

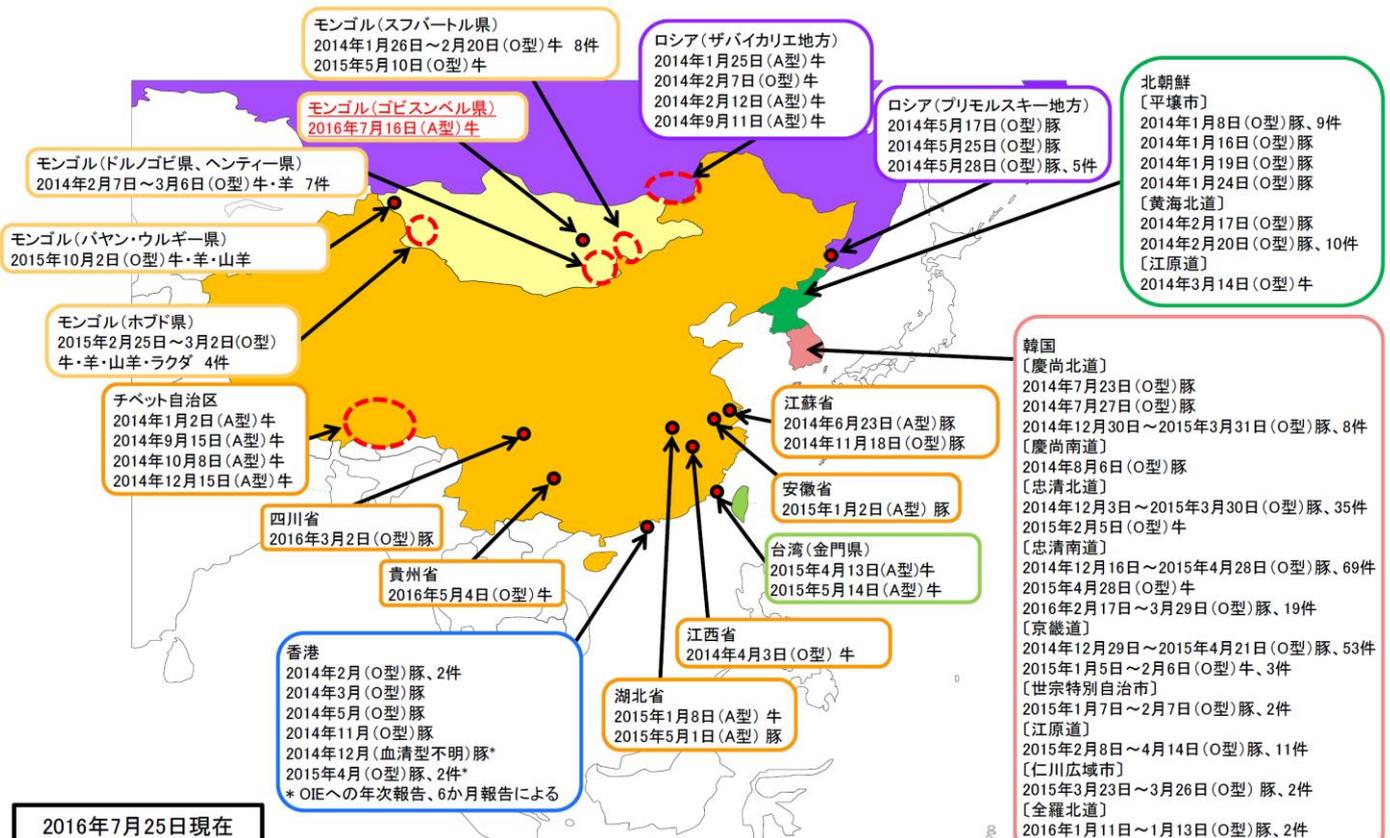
乳器の泌乳能力を知って離乳頭数の改善を

【離乳頭数の改善例：損耗頭数を削減したポイント】

- ①初産からたくさんの子豚を哺育させた
→産次が進むほど泌乳不良の乳器が増えるため
- ②分娩時に乳器をよく見て哺乳頭数を決めた
→発育良好乳器数以下の子豚を哺乳させることにより
- ③哺乳途中での里子・里親を適正に積極的に実施した
→泌乳不良乳器(乳頭から半径 5cm ほどの周囲が丸く汚れている)から哺乳している子豚(子豚の口腔周囲が汚れる、泌乳時刻でないのに乳器にまとわりつく)を早期に発見し、里子へ

詳細は、ピッグジャーナル 2015 年 9 月号などをご覧ください

中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況 (2014年1月以降の発生)



※ 出典: OIE ほか
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)
 ※ ロシアは極東ロシア及びザバイカリエ地方に限る